

## 現地を訪問して想うこと

1990年 理工学部卒

大野 政宏

去年に続き、東北応援ツアーに参加させていただきましてありがとうございました。

前回は福島県の会津地区に参加。私が住む群馬県と同じで、津波、地震による実害は少なく、風評被害による農作物等の売上減で悩む人たちの声を聞くなど大変有意義なものでした。

しかし、今回は津波による損害の現実を初めて目にし、大変心を打たれました。

まず、陸前高田市。震災ガイドさんによる現地案内、解説、パネル写真の案内。駅、商店街、アーケード、家々…鉄筋、鉄骨物以外のものが全てなくなっている現実。震災以降、約3年たち、何の復興も見れず、草々が生い茂る被災地。

そこに住んでいた人々、家族や親族、会社の同僚、幼なじみ…多くの人々が離ればなれ。思い出の品々など、今まで生きてきた人生の歴史の数々の証がなくなってしまった。本当に色々なことを感じました。

他にも、いろいろな地区を見学させていただきありがとうございました。

この経験を数多くの人々に伝え、一日も早い東北の復興を願います。